

さ み い ま だ や ち
佐味今田谷内古墳群

七尾市教育委員会文化課 北林雅康

所在地	七尾市佐味町地内
調査原因	保存目的の発掘調査
調査期間	第1次 平成25年10月18日～12月6日 第2次 平成26年9月9日～11月27日 第3次 平成27年10月16日～12月18日
調査面積	4,650 m ²
主な遺構	1号墳(前方後円墳)、2号墳(円墳)、3号墳(円墳)、溝
主な遺物	1号墳(須恵器・土師器・ガラス玉・鉄製品、石材)、2号墳(土師器)

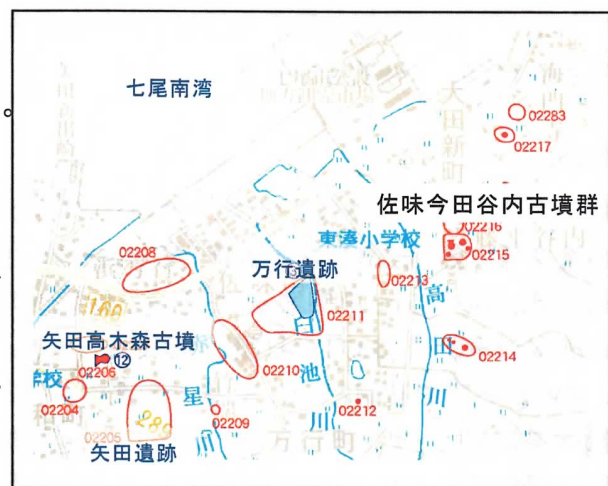
調査の目的

国史跡となった万行遺跡で発見された大型建物群(古墳時代はじめ)の造営者の究明が一つの課題でした。周辺の踏査により藤平谷内古墳群(平成27年2月に佐味今田谷内古墳群に名称変更)が注目されていました。

折しも、古墳群が所在する土地の所有者が古墳群の保存と周辺環境の維持、地域の歴史の啓蒙を目的とした保存会を立ち上げ、調査及び保存へのご協力があったため、市教委として万行遺跡との関連性、七尾地域における古墳の移り変わりを解明するために保存を目的とした確認調査を実施しました。

佐味今田谷内古墳群の位置と環境

七尾市街から東に約3km離れた佐味町今田谷内の丘陵先端部(標高約20m)に所在します。尾根上で大田町(藤平谷内)と地籍が分かれます。西に0.5kmの丘陵上に万行遺跡が所在し、1km西に矢田高木森古墳(6c初)、2.2km北東に三室まどがけ古墳群(6c後半から7c前半)が所在します。古墳からは七尾南湾を見渡すことができます。地盤の地質は、崎山半島中央部に分布する崎山シルト岩層です。



遺跡位置図

調査の概要

平成25年から調査を開始。当初、鬱蒼と茂った雑木林で辛うじて墳丘を確認するのみでした。1号墳(前方後円墳)を中心に立木の伐採と草刈を実施し、墳丘測量を実施しました。

平成26年度は、1号墳の墳形及び規模の確認を目的としたトレンチ調査(T1～3)を実施。近接する2号墳(円墳)と3号墳(円墳)の墳丘測量図を作成するために墳丘及び周辺の立木の一部伐採と清掃を実施しました。